

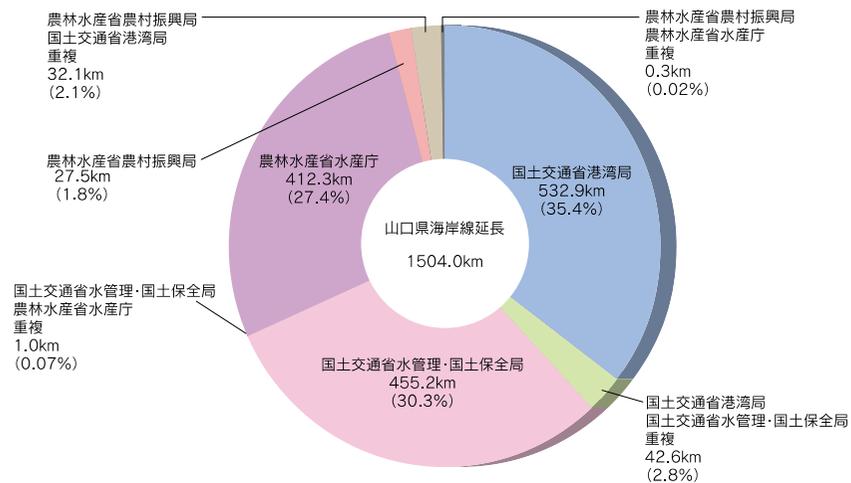
山口県の海岸

概要

三方が海に開けた本県は、県土の面積が約6,100km²で全国23番目となっていますが、海岸線延長は、1,504kmを有し、北海道(4,453km)、長崎県(4,178km)、鹿児島県(2,643km)、沖縄県(2,029km)、愛媛県(1,705km)について全国6位であり、県土面積に比べ、海岸線の延長が長くなっています。

山口県の海岸延長のうち、省庁所管別では下図のとおり国土交通省港湾局所管の海岸線延長が最も長く、海岸背後には、下関、宇部、防府、周南、岩国の人口・資産が集中している県内主要都市が位置しています。

所管別海岸線延長



山口県省庁別海岸延長の内訳 (海岸統計平成28年度版より)

所管別	区分	海岸線延長 (A)=(B)-(C)+(D)+(F)+(G)	要保全海岸延長				その他の海岸線 (F)	一般公共海岸 (G)
			海岸保全区域延長 (B)	うち2線堤 (C)	要指定延長 (D)	計 (E)=(B)+(D)		
水管理・ 国土保全局	専管区間	455,226	20,585	0	0	20,585	160,303	274,338
	重複区間	42,620	42,620	0	0	42,620		
港湾局	港湾局	1,048	1,048	0	0	1,048		
	水産庁	532,891	265,764	21,986	8,923	274,687	274,687	
農林振興局	専管区間	27,519	27,519	0	0	27,519		
	重複区間	32,099	32,099	0	0	32,099		
水産庁	水産庁	275	275	0	0	275		
	水産庁専管区間	412,340	212,749	18,118	2,386	215,135	215,135	
水・ 国農振共管	専管区間							
	重複区間							
合計		1,504,018	602,659	40,104	11,309	613,968	613,968	274,338

これからの海岸整備の基本方針

「美しく、安全で、いきいきした海岸」を次世代に継承していくことを念頭に、環境及び利用との調和を図りながら、災害から海岸を防護する総合的な海岸保全を進めます。



山口県海岸保全基本計画の策定について

平成12年4月から施行された改正海岸法では、防護、環境及び利用の調和の取れた総合的な海岸管理の推進が規定され、新たな計画制度として「海岸保全基本計画」を知事が定めることとされています。

このため、国により示された「海岸保全基本方針」に基づき、平成11年の台風18号被害を契機に開催した「山口県高潮対策検討委員会」の提言を踏まえ、山口県パブリックコメント制度により県民からの意見募集を行うとともに、学識経験者や有識者等の意見を踏まえて、策定しました。

1. 山口北沿岸海岸保全基本計画 ……「豊かな自然と歴史が織りなす共存海岸」

冬季風浪が厳しく、海浜が大きく変動し侵食を受けやすいことから、「冬季風浪による侵食・越波、台風時の潮位上昇による浸水などの災害から県民の安全な暮らしを守る防護」を主体とします。

2. 山口南沿岸海岸保全基本計画 ……「多様な自然と人が共存する安全・快適海岸」

西日本屈指の工業地帯である岩国から下関間の瀬戸内海沿岸は、干満の差が大きく、高潮被害を受けやすく、過去に度々災害に見舞われています。これらを鑑み「高潮及び海岸侵食等の災害に対し県民の安全な暮らしを守る防護」を主体とします。

● 山口県の主な海岸事業 (国土交通省港湾局所管)

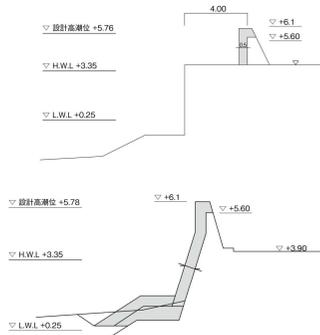
1. 海岸高潮対策事業

高潮、津波による災害から海岸を防護するため、護岸や離岸堤等の海岸保全施設の新設又は改良を行う事業です。

海岸名 **徳山下松港海岸** 場所 **周南市徳山地区** 施設名 **胸壁・護岸**



徳山下松港徳山地区海岸は、平成11年9月に来襲した18号台風により、背後地区に甚大な越波・浸水被害を受けたことから、高潮災害に対し、粘り強い海岸保全施設を構築すべく、護岸と胸壁の天端の高上げを行うことにより、背後地区を越波・浸水被害から防護します。



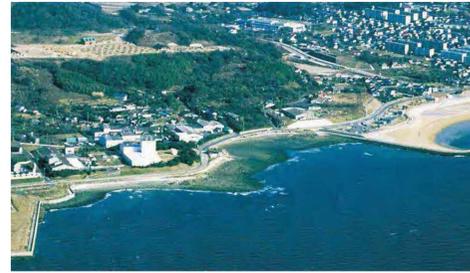
海岸名 **三田尻中関港海岸** 場所 **防府市防府地区** 施設名 **排水施設**



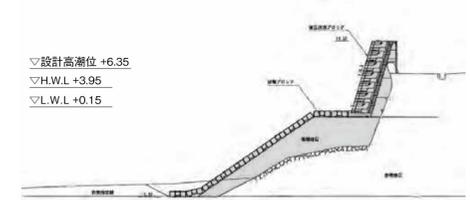
三田尻中関港防府地区の人間川湾奥部は、平成11年9月に来襲した18号台風により高潮が発生し、背後地区に甚大な越波・浸水被害を受けたことから、高潮時の内水排除を促すため排水機場を新設し、背後地区を浸水被害から防護します。



海岸名 **小野田港海岸** 場所 **山陽小野田市大浜地区** 施設名 **護岸**



小野田港大浜地区海岸は、平成11年9月に来襲した18号台風により、背後地区に甚大な越波・浸水被害を受けたことから、高潮災害に対し、粘り強い海岸保全施設を構築すべく、護岸天端の高上げを行うことにより、背後地区を浸水被害から防護します。



2. 海岸堤防等老朽化対策事業

海岸堤防等の海岸保全施設の中には築造後相当の年数が経過しているものが多く、部材の経年変化、波力等の影響による損傷や機能低下が進行している一方、高潮被害の増加や海岸浸食の進行、破堤による被害等の発生が懸念されることから、施設の補修・補強による機能の回復・強化を行います。

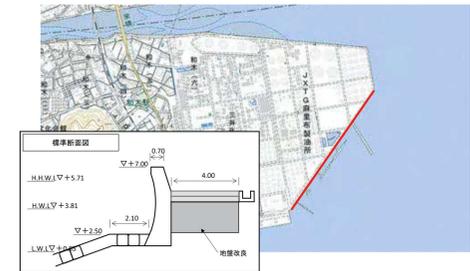
海岸名 **岩国港海岸** 場所 **和木町和木地区** 施設名 **護岸**



岩国港は、山口県東端に位置し、背後は瀬戸内海工業地帯の一翼を担う地区並びに人口密集地を控えています。

海岸保全施設の整備は、高度経済成長期に進み、護岸・胸壁及び排水施設の整備を行い、高潮等に対する対策を図ってきました。

しかしながら、これまで整備した護岸が老朽化しており、背後地が危険な状態にあるため、護岸の補修・補強を行い機能強化を図る必要があります。



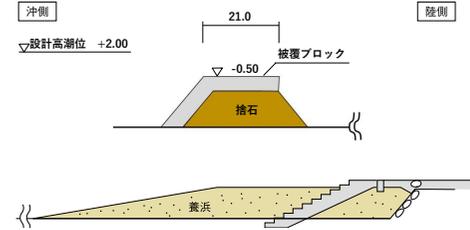
3. 海岸侵食対策事業

波浪による海岸の侵食又は災害を防除するため、護岸や離岸堤等の海岸保全施設の新設又は改良を行う事業です。

海岸名 **小串港海岸** 場所 **下関市松谷地区** 施設名 **潜堤・突堤・養浜**



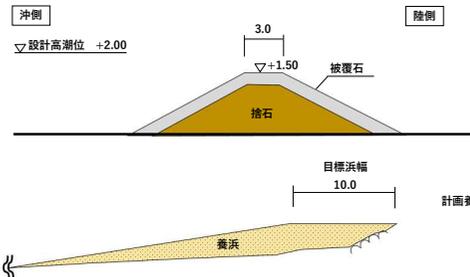
かつての白砂青松の美しい海岸線が昭和40年代から急激に侵食を受けるようになり汀線の後退が深刻化したため、国土保全の観点から侵食対策を行います。良好な景観に配慮し、河川局所管事業で緩傾斜護岸を、港湾局所管事業で、離岸堤（潜堤）、養浜、突堤を整備し、面的防護方式による防護を行います。



海岸名 **萩港海岸** 場所 **萩市菊ヶ浜地区** 施設名 **護岸・突堤・養浜**



萩市菊ヶ浜地区海岸は、冬季風浪により砂浜の侵食を受けており、レジャーや憩いの場としての利用減少に加え、高潮や津波等に対する防護機能が低下していることから、突堤等の整備や養浜を実施し、面的防護方式による防護を行います。



4. 海岸環境整備事業

国土保全および人命財産の防護をあわせて、砂浜や遊歩道、植栽等を整備し、快適な海岸環境を保全・創出する事業です。



周防大島町 久賀港 ビー玉海岸



周防大島町 安下庄港 庄南ビーチ



下関市 油谷港 ほうせんぐり海岸



下松市 徳山下松港 はなぐり海水浴場



岩国市 由宇港 潮風公園みなとオアシスゆう



岩国市 由宇港 潮風公園みなとオアシスゆう

海岸環境整備事業で整備された県内の人工海浜（平成25年3月現在国土交通省港湾局所管）

港名	地区名	海水浴場名	整備期間	整備施設
徳山下松港	はなぐり地区	はなぐり海水浴場	S49～S61	緩傾斜護岸271m、突堤2基、養浜29千㎡
伊保田港	伊保田地区	伊保田海水浴場	S54～S60	緩傾斜護岸165m、突堤2基、養浜19千㎡
久賀港	久賀地区	ビー玉海岸	S61～H10	緩傾斜護岸230m、突堤2基、離岸堤70m、砂留潜堤70m、養浜29千㎡、トイレ・シャワー棟1棟
安下庄港	安下庄地区	庄南ビーチ	S63～H10	緩傾斜護岸260m、突堤2基、砂留潜堤79m、遊歩道47m、養浜23千㎡、トイレ・シャワー棟1棟
柳井港	伊保田地区	伊保田マリナーパーク	S63～H5	緩傾斜護岸250m、突堤2基、トイレ・シャワー・更衣室・休憩所1式、養浜38千㎡
油谷港	阿川地区	ほうせんぐり海岸	H4～H12	緩傾斜護岸690m、突堤1基、潜堤3基、トイレ・シャワー棟1棟、パーゴラ1式、養浜32千㎡
由宇港	有家地区	潮風公園みなとオアシスゆう	H10～H17	緩傾斜護岸470m、直立消波護岸230m、突堤2基、養浜100千㎡、排水施設1基、センター棟1棟

